

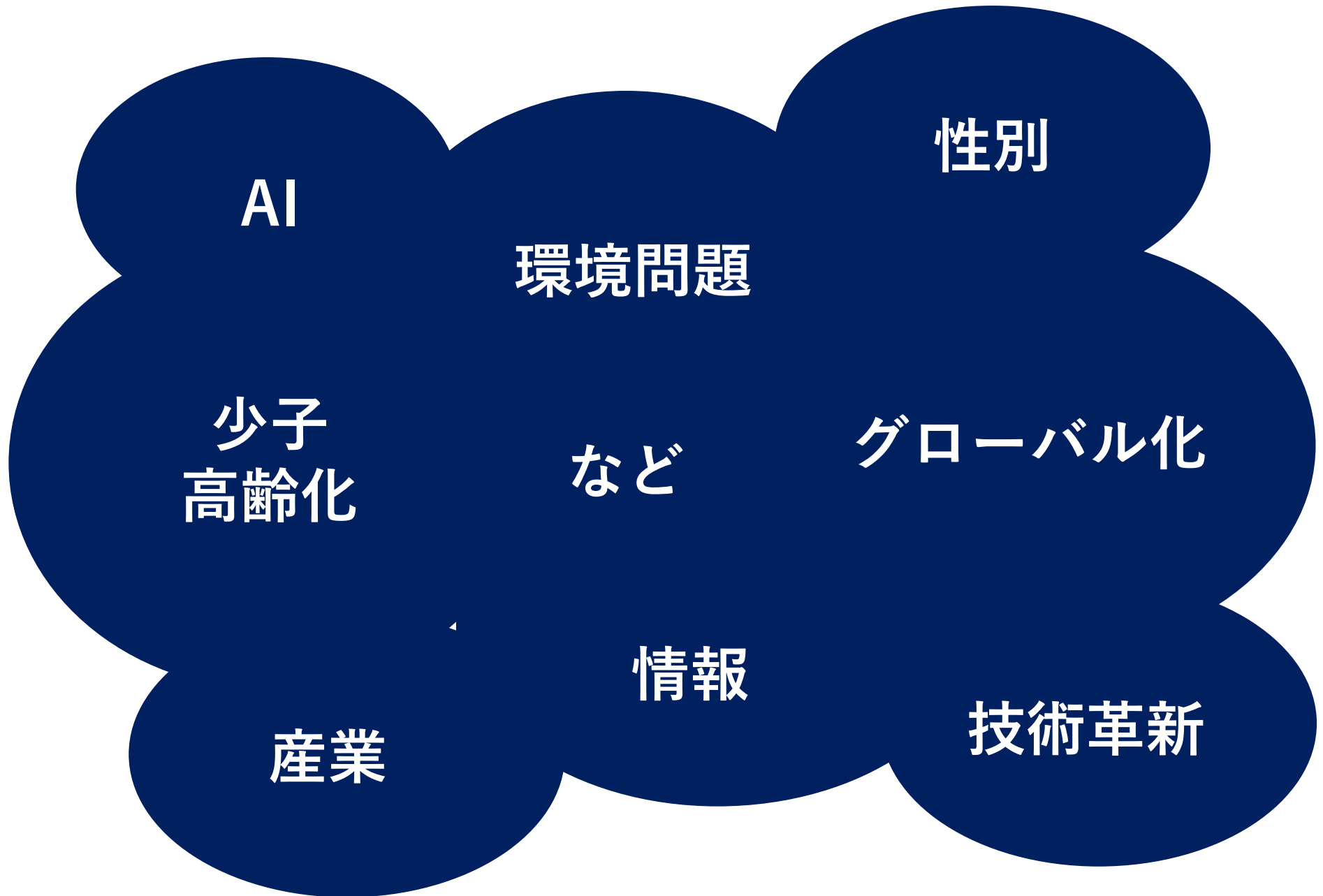
令和元年度

大分大学教育学部附属中学校 公開授業研究会

- 1 研究の概要
- 2 研究の方法
- 3 指導案の見方
- 4 各教科における
「問い」の工夫

1 研究の概要

深い学びを実現させる
「問い」の工夫



新たな社会 "Society 5.0"

5.0



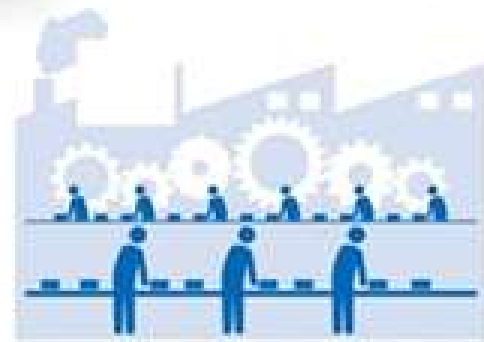
1.0
Society 1.0 狩猟



2.0
Society 2.0 農耕



3.0
Society 3.0 工業



4.0



Society 4.0 情報

(内閣府作成)

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、
そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）補足資料」より

育成すべき汎用的な資質・能力

- 生きて働く知識・技能
- 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力
- 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等

学校教育目標

豊かな学びを基盤とし、高い志と確かな人間力を持つ 実践力に富んだ生徒の育成 ～ 高い学力・深い愛の心・堪え忍ぶ力 ～



主体的・対話的で
深い学び

六期コンセプトと連動した
生徒会活動の充実
※別紙参照

昨年度

「主体的・対話的で深い学び」

を生み出す単元構想



課題

「めあて・課題」, 「まとめ・振り返り」の質の向上

授業記録

シラバス提示

5:15 ありさし

① シラバスは、シラバスを何でやるの？ 重要
物体の運動 / シラバスがある。

② 等速直線運動 ③ 自由落下運動

④ 斜面を下る運動

⑤ 線を引くこと ⑥ 何が関係ある？
⑦ 何が「ニセ」？

⑧ 一定の割合で進む？ / 一定の速度で進む。

⑨ ニセはどんな特徴がある？ 何が影響している？

⑩ ~ ⑪ この現象が前回どうなってる。

⑫ 加速？ 例として自由落下は？ 言ってる？
⑬ 加速？ 例として自由落下は？ 言ってる？

⑭ 等速直線運動がわかる？ 等速直線？
斜面

⑮ 合力が0になる？ 一定の速度で運動してわかる？ 関係している？

⑯ **課題** ⑰ 何が関係している？

⑱ **提示** ⑲ 何が関係している？

⑳ 学習の先生はなんでやる？ ストロボ撮影

㉑ 運動の様子をどうやって測るの？ ⑳ 測定の仕方

㉒ この運動はどうして周りを話してる？

㉓ 運動は測れる？ 向きは？

㉔ 二振 ㉕ 向き？ ㉖ 運動

① 共通点は？ ② 運動の様子

③ 真中に線が引いて ④ の取っ取り？

⑤ 高さ？ ⑥ 高さ？

⑦ 一定の速度で動く？ ⑧ 高さ？

⑨ 真中、線が引いて、区切り？

⑩ 横に線が引いて、区切り？

⑪ 縦に線、ボール、垂直に横の線 → 取っ取り？

⑫ 横に引いて、高さ？

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊿ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

深い学びを実現させる 「問い」の工夫

なぜだろう??

どうしたらいいのだろう??

問い

届いた学習課題

「問い」の工夫



「問い」の工夫Ⅰ？

めあて、学習内容が生徒に届き、共有させ、主体性を生むための手立て・プロセス

「問い」の工夫Ⅱ

深い学び（単元の目標の達成）に迫るための手立て・プロセス

単元の目標 付けたい資質・能力

主体的・対話的で深い学び

「問い」の工夫Ⅱ

「問い」≒課題

届く・共有

めあて
学習内容

「問い」の工夫Ⅰ

学習者

2 研究の方法

新大分標準のすすめ
 ～『学びに向かう力・人間性等の涵養』を目指す授業の仕組み～

汎用的な能力を育成する！

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

【学習指導要領各教科等の目標達成】

各教科等の本質（資質・能力）に迫ることで、

各教科の見方・考え方を働かせ、

【主体的な学び】

- ・学ぶことに興味や関心をもつ。
- ・自己のキャリア形成の方向性と関連付ける。
- ・見通しを持って粘り強く取り組む。
- ・自己の学習活動を振り返って次につなげる**学び**。

【対話的な学び】

- ・子ども同士の協働
- ・教職員や地域の人との対話
- ・先哲の考え方を手掛かりに考える。
- ・自己の考えを広げ深める**学び**。

【深い学び】

- ・知識を相互に関連付けてより深く理解する。
- ・情報を精査して考えを形成する。
- ・問題を見いだして解決策を考える。
- ・思いや考えを基に創造することに向かう**学び**。

大分県教育委員会義務教育課
 「新大分標準のすすめ」より

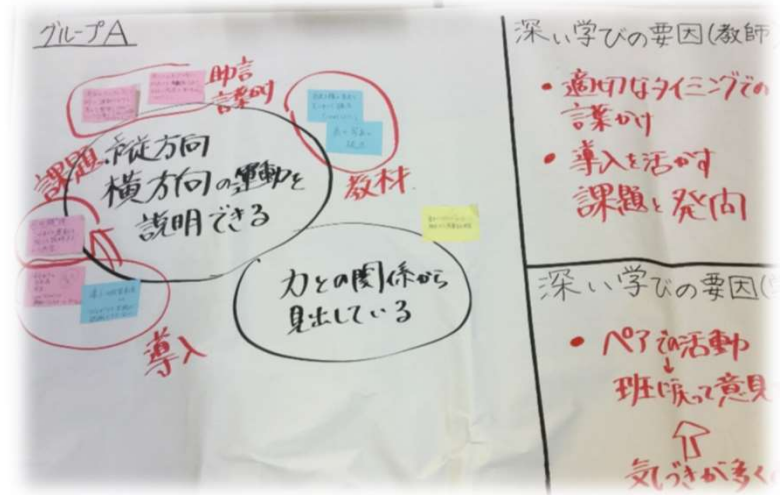
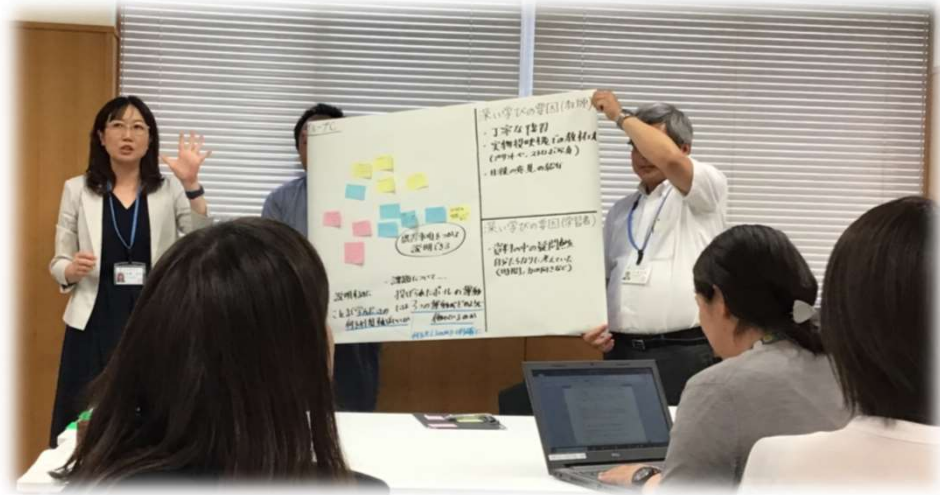
公開校内授業研修会

月に一度程度の公開授業 → 事後研

大学の教授
指導主事
他校の先生方



事後研の様子



授業記録



単元構想メモ

※澤井先生の著書より作成

①単元の目標は何か（資質・能力）	
④問題意識を持たせるために、どのような導入を図るか（③を届けるために）	⑥使える資料は何か。どこで使うか。
③どのようなめあて、課題を設定するか （各教科の見方・考え方が働くもの）	問いの工夫Ⅰ ?
⑤どんな追及活動を行わせるか（言語活動含む）	問いの工夫Ⅱ
②単元の最後に理解させたこと、発言させたいことは何か （単元のゴール+振り返りポイント）	⑦どのような表現活動をどうするか



3 指導案の見方

単元を通したためあて，課題

5 単元指導計画（総時数 6 時間）

単元を通したためあて「不平等感がない世の中にするには何が必要かを考える。」

時間	めあて	学習活動	問いの工夫	振り返り	評価 規準	評価方法
1	不公平感を感じることについて考えることができる。 「問い」の工夫Ⅰ	不平等感に関するアンケート「社会」等に ついて考える。	「問い」の工夫Ⅰ 世間と学習者の考えの一致から単元のめあてを設定したり，自身 が課題？を考 えたりすること (シラバス化)，学 習者の意欲を高め る。	色々な不公平感 を考えた。次 はその背景を 考えたい。	ア	1 枚ポート フォリオ
2	基本的人権の尊 重の内容を理解 できる。	基本的人権につ いて，知る。	「問い」の工夫Ⅱ シラバス化によ り，学習者の振 り返りから疑問を 抽出し，そこから 次のめあてを設 定したり， 主体的な？を生 む。 また，学習者の 調べたことや考 えたことを比較 させたり，矛盾 した内容の資料 を提示した	細かく基本的 人権について 理解したので， 次はそれに従 って，解決策を 考えたい。	エ	
3 4	不公平感の原 因・背景の情 報を調査する ことができる。	不平等感の原因・ 背景の情報を 収集する。		自分で調査す ることができ たので，みな と共有したい。	ウ	
5 本時	より良い社会を つくるために 大切なことを 考えることが でき	集めた情報を みんなで共有 し，様々な角 度から考察 する。		より良い社会 づくりのため には，個人の 尊厳を意識す る	イ	

3 指導案の見方

(3)本時における「問い」の工夫

前時の振り返りよりめあてを確認することで、主体性を生む。マトリクス等の思考ツールを用い、調べた内容を比較させることで背景・原因を捉え、根拠とすることで学習者の思考を促す。

(4)展開

学習活動	時間	指導	期待される学習者の反応	備考・評価
1 前時を振り返り、本時の課題を確認する。	3	<p>○前時の学習者の授業の振り返りの中から、本時につながる内容のものを紹介し、本時のめあてを確認する。</p> <p>「みんなが不平等・不当感を感じているが、解決する術を話し合いたい。」「不平等感の解決の方法を考えるために、みんなの意見を聞きたい。」という思いを全体で共有する。</p> <p>めあて：より良い共生社会をつくるために、意見を交流し、自身の考えを深めよう。</p> <p>課題：どうしたら不平等感を解消できるだろうか。</p>		
2 各自で不平等	15	○自分が調べた不平等を感じる事象		

(6)学習観察の視点

- ・めあてと学習内容が学習者に届き、主体的に活動できていたか。
- ・自分たちで調べたことを比較しながら話し合う活動が、本時のねらいの達成に有効であったか。

背景・原因	昔からの意識が残っており、それが現代まで続いている。	多数派に合わせ、少数派への配慮がなされていない。	多数派に合わせ、少数派への配慮がなされていない。	是正の仕組みが格差を解消できていない。是正の制度を知らない。
-------	----------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------------

3 班で解決策を考え、ホワイトボードを用い、クラスで共有する。

27

○マトリクス等の思考ツールを用い、背景・原因を比較させながら不平等な事象の解決策について考えさせ、発表させる。

○すべての個人がお互いに尊重し合うことを「個人の尊厳」というと

・国民が意識できていないので、国民一人ひとりの意識が変わらないといけない。

・少数派の想いを具体化するべきだ。


4 各教科における「問い」の工夫


1年生 国語

育成したい資質・能力
魅力的だと感じる物語の良さを伝えるために、ストーリー以外の文章の工夫を捉え、分類シールで可視化しながら読むこと通して、文学的な文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる。



単元のめあて
お薦めする物語の魅力の根拠を明確にして伝えよう

「問い」の工夫Ⅰ 
学習者の興味・関心を高めるために、単元の学習計画を担当クラスで話し合っ立てさせる。担当クラスが選んだ10冊から魅力的だと感じた一冊を個人で選ばせる。また、成果物を県立図書館に展示することで意欲を高める。

「問い」の工夫Ⅱ 
お薦めする物語の魅力に迫るためにどのような読み方ができるかを問い、共通教材を想起させたり、他班の読みを参考にさせたりして視点を広げさせる。

4 各教科における「問い」の工夫

3年生 社会

育成したい資質・能力
個人の尊厳や法の支配の知識や概念を習得し，社会における課題を多面的・多角的に考察し，公正に判断する力



単元のめあて
より良い社会をつくるために大切なことを考えることができる

「問い」の工夫Ⅰ ?

社会と学習者の意識の差について考え，学習者の疑問を生んだり，学習の見通しを学習者をつくったりして，主体的な学びを生み出す。



「問い」の工夫Ⅱ

振り返りでの新たな疑問を全体で共有し，次の学習のめあてにつなげることを単元で繰り返す，主体的な活動を生むとともに，単元の目標に迫る。

4 各教科における「問い」の工夫

3年生 数学

育成したい資質・能力

身のまわりの事象について，変化や対応を調べ，関数関係を見出し，考察・表現できる。



単元のめあて

身のまわりの事象から関数関係を見つけ，その関係を利用して問題を解決しよう。



「問い」の工夫Ⅰ
身のまわりの事象の問題を扱い，ICTなどを用い，イメージをもたせ，問題や課題をつかませる発問を行う。



「問い」の工夫Ⅱ

- ・対話的な学びを通して，自分の見方を増やしたり，新たな考えをつなげたりする。
- ・表，式，グラフを相互に関連付けさせる発問を行う。
- ・全体での交流や効果的な振り返りを行う。

4 各教科における「問い」の工夫

2年生 理科

育成したい資質・能力

見出した共通点や相違点を相互に関連付け基準を設定することが分類には必要なことを理解し、分類の仕方の基礎的な技能を身に付け、自然界に様々な動物が共存していることに気付くことができる。



単元のめあて

私たち動物の仲間はどうのようになかま分けができるのだろうか。



「問い」の工夫Ⅰ
なかま分けの基準について発問を行うことで、分類に関する基本的な概念の理解を深める。



「問い」の工夫Ⅱ
体のつくりに着目して、分類の基準を考えたり、複数の動物を比較し、共通点や相違点を見出したりする。

4 各教科における「問い」の工夫

育成したい資質・能力

紹介したい国について、文と文とのつながりや順序、構成を工夫したり改善したりすることを通して、まとまりのある説明文を書くことができる
社会的な話題に関して聞いたりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。
文学的文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる。



単元のめあて

文の構成やつながりを意識して、紹介原稿を見直し改善することができる。

3年生 英語

?

「問い」の工夫Ⅰ

文章構成やつながりを意識したワールドカップで大分に来県する国の紹介ブローシュアを作成する。



「問い」の工夫Ⅱ

これまで学んできた構成や順序を視点として、学習者同士で意見を出し合い、英文を再構成させる。

4 各教科における「問い」の工夫

3年生 体育

育成したい資質・能力
文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。



単元のめあて
文化としてのスポーツの意義を理解する。

「問い」の工夫Ⅰ ?

座学中心の単元の実技を取り入れ、理論だけでなく実践を伴う授業を意図した。

発問を構造化することで理解を深め、知識を実生活に活かせるようにする。



「問い」の工夫Ⅱ

座学中心の単元の実技を取り入れ、理論だけでなく実践を伴う授業を意図した。

発問を構造化することで理解を深め、知識を実生活に活かせるようにする。

4 各教科における「問い」の工夫

1年生 家庭

育成したい資質・能力
家族の生活と住空間との関わり，住居の基本的な機能，家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能を身に付け，これからの生活を展望して，住生活の課題を解決する力を養い，住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。



単元のめあて
住空間の整え方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，健康・快適・安全な住まい方を考えてみよう



「問い」の工夫Ⅰ
磯野家を例に，実生活に活用できるチェックシートを作成する。



「問い」の工夫Ⅱ
既習知識を使ってチェックシートを改善し，それをを用いて，実際の生活につなげる。

4 各教科における「問い」の工夫

1年生 音楽

育成したい資質・能力

曲の背景や作者の心情から、どのように歌いたいかという曲に対する自分の思いや意図をもち交流し、音楽記号などを用いて歌唱表現を考え、試行錯誤しながら練習する過程を通して、曲にふさわしい表現に近づけていくことができる。



単元のめあて

歌詞の内容や曲の背景，作者の心情が伝わるような音楽記号を考え表現の工夫をしよう。



「問い」の工夫Ⅰ
合唱コンクールへの思いをクラスで共有し意欲を高める。昨年度の演奏を聴き、音楽記号の違いによって伝わり方や表現の違いがあることに気づく。



「問い」の工夫Ⅱ
楽譜に音楽記号を付け、「歌い方メニュー」を活用し、思いの伝わる合唱にするために、聴き合いながら練習する。